## 日本基督教団 八ヶ岳伝道所 主日礼拝 NO.1140 2020年 10月4日

司式 斎藤 美沙子 9:30~10:30

※信仰告白は当面のあいだ省略します

司式 福田 奈里子 11:00~12:00 ※讃美は二番まで歌います 第二部礼拝 前 黙想 讃 美 歌 397 やまいのとこにも 奏 讃美歌 67 よろずのもの とわにしらす 献 金 祈 讃 禱 詠 547 いまささぐるそなえものを 聖 書 イザヤ書 53:4~5 黙 マタイによる福音書 8:16~17 主の祈り 564讃 美 歌 514 よわきものよ 頌 栄 543 主イエスのめぐみよ 説 祝 教 『 病の癒しと十字架 』 禱

奏楽 山本 恵美 第一部礼拝

牧師 山本 護

祈

「夕方になると、人々は悪霊に取りつかれた者を大勢連れて来た(マタイ 8:16a)」。夕方、日が沈むと安息日は終り、人々は自由に動き出す。その直前、ペトロの姑への癒しはまだ安息日中で(マルコ 1:21,29)、律法に抵触する。そのような危険を冒してもイエスが行なったのは、病の癒しや人間性を奪う悪霊の放逐。また夕方は労働を終えて休息する時なのだが、癒しの求めに応えてイエスは休まなかった。

後

奏

「イエスは言葉で悪霊を追い出し、病人を皆癒された(マタイ 8:16b)」。可触厳禁の「らい病者」に触れて癒し(8:3)、異教徒を癒し(8:13)、信仰の有無を問わず、律法に抵触しながら「病人を皆癒した」。イエスの愛の業は、信仰や社会のあらゆる枠組みを超えている。教会の教えの範囲も、悔い改めも、義と罪も超えて、愛の奇跡は起こされる。教会の内でも外でも働き給うキリストに、不可思議な明るさを覚える。八ヶ岳伝道所で毎月開かれるメディカル・カフェでもそのことを静かに感じている。

「悪霊に取りつかれた者(8:16)」を直訳的に言えば「悪霊化された者」。病気で苦しむ人々を「悪霊化された」とは酷だが、当時はそう解されていた。イエスは悪霊を浄め「病人を皆癒された(8:16)」。それではなぜ、なおも病の癒されない人がいるのか。敬虔な兄弟姉妹が癒されず「不当にも」召されてしまうのは、いったいなぜなのか。…分らない。だが引用される預言者の言葉から次のことは分る。

「それは、預言者イザヤを通して言われていたことが実現するためであった。〔彼はわたしの患いを負い、わたしの病を担った〕(マタイ 8:17)」。治癒した病だけに限るまい。病の苦しみはキリストの痛みの一端なのだ。キリストが担っておられる病の一端を、私たちは痛みとして受けている。病になる時、私たちはこの心身で、キリストとつながっていることを覚える。苦しい病では一刻も早い快復に心が奪われるが、「病に罹っている」キリスト者は、キリストがどういう方であるかをチラと予感する。

「彼が担ったのはわたしたちの病。彼が負ったのはわたしたちの痛みであったのに、わたしたちは思っていた。神の手にかかり、打たれたから、彼は苦しんでいるのだ、と(付 \* 7 53:4)」。キリストは、人々の病や痛みを負っただけではない。「彼が刺し貫かれたのは、わたしたちの背きのためであり、彼が打ち砕かれたのは、わたしたちの咎のためであった(53:5a)」。そこには罪を負われる十字架がある。

イエスは夕方の休息も取らずに、一人ひとりを深く見つめて癒す。その癒しはなぜ実現するのか。「彼の受けた懲らしめによって、わたしたちに平和が与えられ、彼の受けた傷によって、わたしたちは癒された(53:5b)」。十字架で私たちは赦され、癒される。また、癒されない病のままならば、この心身でありありと信ずることになろう。キリストが私の背きと咎を負って、苦しんでおられる、と。

私自身の小さな物語は、一人ひとりのささやかな生涯は、神の死というとてつもない「物語」とつながっている。私の病や罪は十字架で肩代わりされ、私の命はキリストの永遠に結びつく。キリストの愛と癒しは教会の内側だけでなく、外側にも広がっているようだが、その奇跡は外側の者が証しするだろう。「言葉で悪霊を追い出し、病人を皆癒された(マタイ 8:16)」ことは自分自身の奇跡として知る。

病の苦しみはキリストの痛み 数多のキリスト者で分かち合っている痛みだから耐えられている 罪の重荷を肩代わりされてこの身が軽くなっている 私の肩 皮が剥けているのはその痕跡なのか 本日午後は役員会。10/10(土)1:30~3:00 聖書研究会。牧師の動き:10/7(水)午前は YMCA の聖研。 午後は同所で甲府聖研。10/13(火)ギリシア語の学び。十字架前はスズメバチ注意、駆除せず冬を待ちます。

礼拝堂・集会所の住所: 408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3

連絡・問い合わせは牧師へ: 408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008 komechan.olive@orange.zero.jp HPは「日本基督教団八ヶ岳伝道所」で検索して下さい。